

研究テーマ	日本の貨幣・銀行・証券	担当者名	齊藤 壽彦
担当科目	ビジネス倫理、金融論Ⅰ・Ⅱ、 証券市場論Ⅰ・Ⅱ	募集人数	17名
先修科目	研究ⅠA・B ・ ・ ・ 研究基礎A・B 研究ⅡA・B ・ ・ ・ 研究ⅠA・B 卒業研究A・B ・ ・ ・ 研究ⅡA・B		
講義内容	<p>金融問題は、人々の生活を左右する基本要因の一つである。金融を学ぶことによって経済全体を把握することができる。本研究では、とくに、日本を中心とする貨幣・銀行・証券に関する基礎的知識を身につけるとともに、これを基に、各人がこれらに関する問題の中からテーマを1つ選んで、文献を深く読んで、その内容をよく理解し、その成果を報告し、討論を行い、論文にまとめるように指導する。共同論文の作成も認める。本研究は公益財団法人石井記念証券研究振興財団からの助成金の交付を受けて証券研究を行ってきた。今後もこの助成を申請したい。</p> <p>また、キャリア教育にも取り組む。本研究では豊かな人間関係を形成することを重視しており、親睦を図ることにも努めたい。</p>		
講義の到達目標	<p>経済社会が直面する様々な問題に関心を持つとともに、これに関する問題発見、問題解決、プレゼンテーション能力を持ち、さらにコミュニケーション能力を持つ学生を養成する。</p>		
準備学習等の指示	<p>毎日新聞をよく読むこと。演習に積極的に参加するとともに、演習時間以外に各自のテーマに従って自主的に真摯に図書資料等をよく調べること。</p>		
研究の概要・授業計画	<p>【研究ⅠA・B】</p> <p>研究ⅠAでは最初に新聞の読みあわせを行い、新聞を読む習慣を養うとともに、その読み方を指導する。次いで、日本を中心とする貨幣・銀行・証券に関する基本文献の輪読を行うとともに、本研究担当者がそれらについて講義する。研究ⅠBでは日本を中心とする貨幣・銀行・証券についての講義を継続するとともに、各学生がそれらに関するテーマを1つ選び、レポートを作成することとする。本研究では卒業論文を作成することを最終目標としているが、研究ⅠA・Bでは論文を執筆するために必要な基礎的能力を養うのである。</p> <p>【研究ⅡA・B】</p> <p>研究ⅡAにおいて、まず、論文の書き方について講義する。次いで、日本を中心とする貨幣・銀行・証券に関する問題の中から各学生が自らの研究テーマを自主的に決定し、それに関する文献の探索を行うこととする。研究ⅡBでは各学生が各自の研究成果について中間報告を行い、それに基づいて討論を行い、その後論文を作成することとする。学生が報告することができない演習実施日には、本研究担当者が貨幣・銀行・証券について現実に問題となっている事柄について講義する。研究ⅡA・Bでは卒業論文を作成するための基礎的能力を養うのである。</p> <p>【卒業研究A・B】</p> <p>卒業研究Aにおいて、日本を中心とする貨幣・銀行・証券に関する問題の中から各学生が卒業研究のテーマを自主的に決定し、それに関する文献の探索、閲覧、抜粋等を行い、これらに基づいて中間報告と討論を行うこととする。卒業研究Bにおいても中間報告と討論を行い、卒業論文を作成することとする。研究テーマは研究ⅡA・Bの場合と同じでも違っていてもよいが、研究ⅡA・Bよりも高い水準の卒業論文を執筆することを学生に求める。学生が報告することができない演習実施日には、本研究担当者が貨幣・銀行・証券について現実に問題となっている事柄について講義する。</p>		
評価方法	<p>中間報告や討論などにおけるゼミナール活動への参加の積極性の度合いや論文の内容を総合的に判断して成績評価する。</p>		
履修上の注意	<p>金融論に関係する授業を履修しておくこと。またゼミナール活動に積極的に参加すること。</p>		
教科書	<p>授業中に指示する。</p>		
参考文献	<p>授業中に指示する。</p>		